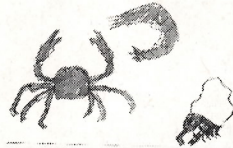


稜

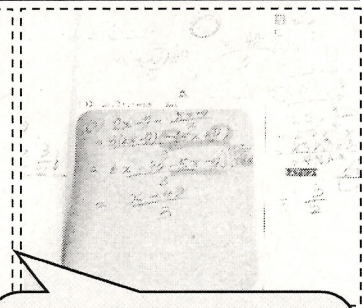
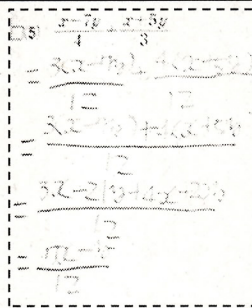


1/27 木

通心033(第673号)

気が付けば、1月も終わろうとしています。3学期は本当に短いですね。だからこそ、貴重な「時間」を大切に使用したいと強く思います。

2022年は「行動力ある初心者」として、「初心」を忘れず、日々学び続けることが目標です。今チャレンジしているのは「公認野球指導者 基礎I U-15」という指導者資格の取得です。「スポーツマンシップ」「スポーツ医学」「スポーツ栄養学」など、数々の専門用語と格闘する毎日です。まさに中学・高校生時代の勉強を思い出します。内容は異なりますが、心の面では、共通していることが多いです。皆さんのテキスト学習の「質」が日々向上しているように、私も“質”の高い学びを続けていきたいと思ひます。



決して手を抜かず、途中式を丁寧に書く姿勢が素晴らしいです。基礎・基本こそ「土台」になりますね。

仕事着姿が一番かっこよかった

以前、成人式の会場でステージに上がって暴れたり、会場の外で酒を飲んだり、式の間中ずっとおしゃべりしている新成人が大きな社会問題になった。

そこで宮崎市は数年前から会場を新成人の出身中学校に変え、さらに地域の人たちによる手作りの成人式にしようということになった。

1月9日、地元の中学校に行ってきた。やっぱり成人式らしく女の子たちの着物姿は豪華絢爛、男の子も原色の派手な紋付袴を着たり、スーツ姿の子も奇抜なヘアスタイルをバッチリ決めていた。

中学校単位で行うようになってから暴れる子もいなくなり、今年も滞りなく執り行われたようだ。

後日、スタッフとして関わった人たちとお話する機会があった。

「後ろから見ている分には素晴らしい成人式だった」と言う。この「素晴らしい」というのは「何もトラブルが起きなくてよかった」という意味だ。

「でも前から見ていると、それはそれは話を聴く態度がとてもひどかった。特に男の子は」という話が出てきた。

なるほど、昨今は酒を飲んだり、暴れたりする「反社会的」な新成人は少なくなったが、人の話をふんぞり返って聴いていたり、式の間中、ずっとおしゃべりしている「非社会的」な光景が目立つようになった。

集団の中に入ると、「自分一人くらいは…」と軽い気持ちでつい隣の人とおしゃべりしてしまうことがある。しかし、みんなが同じ行動をとると、結果的に会場は騒がしくなる。

また、イスにふんぞり返って座るのはその子にとっては普通のことなのかもしれない。だからその態度が厳粛な式典の雰囲気壊していることに全く気が付いていないのだ。

～中略～

いい話も聞いた。会場にクロネコヤマトの仕事着姿の若者が入ってきた。1日休むとトラック1台分の荷物の配達に1日遅れる。人手も足りず、仕事を休むことができなかったということで、彼は配達途中で式典の会場に立ち寄ったとのことだった。

受付の人が「住所を書いてください。最後に記念写真を撮って送りますから」と言うと、「いやあ、この格好だから記念写真は結構です」と断った。そのとき、受付の女性が言った。「何言ってるのよ! あなたが一番かっこいいですよ」

よくぞ言ってくれたと思う。そして、「あの子は聴く姿勢もよかったですよ」と話していた。

出来上がってきた記念写真を見た。

左端に写っていた緑色のジャンパー姿の若者が、誰よりも誰よりもかっこよかった。

『日本一心を揺るがす新聞の社説2』(水谷もりひと/ごま書房新社)

昨日、日直が決めた目標は何だったか、覚えていますか。「私語を減らす」でした。日誌を見ると、「美術のときは特に私語が少なく、いい集中力だったと思う。」と振り返っていました。また、5・6限の総合的な学習の時間での「高校調べ発表」では、顔を上げて、真剣に発表者に耳を傾ける姿がみられました。その真剣な姿勢も、きっと誰かが見てくれていますよ。

